

外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向

事 例 集

平成31年4月

北 海 道

外国人と共に暮らすことの重要性を理解できる環境をつくる

◆啓発活動の推進

事例：住民向け広報紙による在住外国人の紹介（実施主体：浦河町）



<活動の概要等>

◎『広報うらかわ』の特集記事

- ・平成31年1月号・2月号に「外国人の暮らし」として掲載
- ・町内で軽種馬産業や漁業に従事する外国人（インド・フィリピン・マレーシア・シンガポール・インドネシア人）の暮らしの様子や、長期間居住してもらうための生活環境整備に係る町の取組について紹介

Intentionally blank

外国人と共に暮らすことの重要性を理解できる環境をつくる

◆外国人と日本人との共同行事の開催

事例：ワールドフェスティバル in 石狩（実施主体：NPO 法人 石狩国際交流協会（石狩市））



<活動の概要等>

◎外国人、日本人住民双方が参加するイベント

- ・着物着付け体験、折り紙、書道等
- ・20カ国100名の外国人（市内在住外国人、留学生、JICA 研修員等）と500名の日本人市民が参加

<経緯等>

- ・当初は、石狩の子供たちに国際理解を深めてもらうことを目的に、ALTが中心となり道内の外国人に呼びかけイベントとして実施。（平成20年までは子供中心）
- ・平成30年までに16回開催

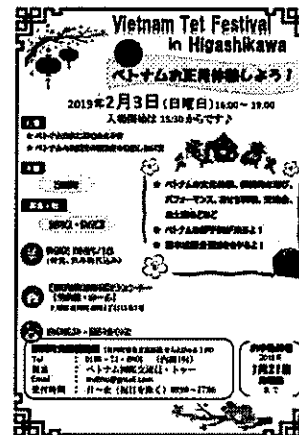


外国人と共に暮らすことの重要性を理解できる環境をつくる

◆外国人と日本人との共同行事の開催

事例：ベトナムテトフェスタ in 東川

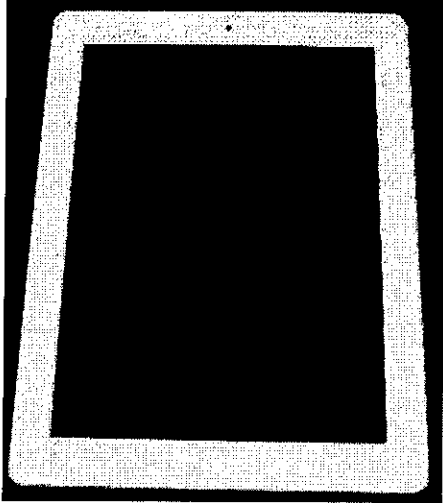
- ・地域住民と町内のベトナム人留学生がベトナムの正月（テト）をテーマに交流（ベトナムの歌と踊り、伝統的な遊び、正月料理等が紹介される）（日本の節分・豆まきが紹介される）
- ・町立日本語学校と旭川福祉専門学校に在籍する留学生を中心にボランティアが協力
- ・H30年に続き2回目の開催となり、H31年は約250名が参加



外国人が安全に安心して暮らせる環境をつくる

◆多言語で行う情報提供・相談体制の充実

事例：テレビ電話通訳サービスの導入（実施主体：浦河町）



<活動の概要等>

◎タブレット端末を使ったテレビ電話通訳サービス

- ・町民課窓口を設置
- ・英語・中国語・ヒンディー語・フィリピン語等 12 言語に対応

（平成 31 年 2 月現在試験導入中）

外国人が安全に安心して暮らせる環境をつくる

◆防災・災害対応

事例：・・・防災教育・訓練の実施（実施主体：HIECC）



<活動の概要等>

◎ 在住外国人（留学生）への防災教育・訓練促進事業

- 座学：北海道で発生する自然災害について知る
 - ・地震と津波の基礎について
 - ・災害情報について
 - ・自助について
- ワークショップ：凶上退避訓練など
- 体験：災害センターにて地震などの体験

<経緯等>

（一財）自治体国際化協会の助成金を活用し、本道に中長期で滞在する留学生に対し、北海道で発生し得る自然災害について、発生後に自助として取るべき行動、災害情報はどのように得るか、また、平時からどのような備えをするべきかについて、座学とともに防災センターにて地震などを体験。

※ 実施大学 ～ 室蘭工業大学、小樽商科大学
（平成 25 年度、27 年年度）



外国人が安全に安心して暮らせる環境をつくる

◆ 防災・災害対応

事例：・・・「多言語対応救急救命表示版」シミュレーション訓練 (HIECC)



<活動の概要>

◎ 本道で生活する外国人（留学生等）の協力を得て、北海道庁及び千歳市消防署の協力のもと作成した「多言語対応救急救命表示板」を活用し、北海道消防学校入校生（救急科）が日本語を話せない外国人急病者や負傷者の症状判定シミュレーション訓練を実施。

<経緯等>



「多言語対応救急救命表示板（全 13 カード）」

「処置カード（全 16 カード）」

平成 20・21 年度に（一財）自治体国際化協会の助成金を活用し作成。全道の消防車へ配備するため消防本部へ配布するとともに、HIECC のホームページ上でデータを公開中。作成後は、北海道消防学校にてシミュレーション訓練を実施。

（平成 22～26 年度）



外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆外国人の日本語学習の支援

事例：「HIWA日本語教室『まなぶ』」（実施主体：北海道国際女性協会（札幌市））



<活動の概要等>

◎在住外国人に対する日本語指導

- ・グループレッスン（入門コース、初・中・上級）と自宅でのマンツーマン指導。
- ・マンツーマンでの学習者には、子育て支援、病院への同行等生活支援も実施。

<経緯等>

- ・平成 6 年、在住外国人に有意義な生活を送ってもらうことを目的に、日本語指導を通じ、様々なお手伝いを開始。
- ・当初は、学習者の自宅でマンツーマン指導
→学習希望者の増加に伴い、平成 18 年教室指導も開始（現在 2 形態）。



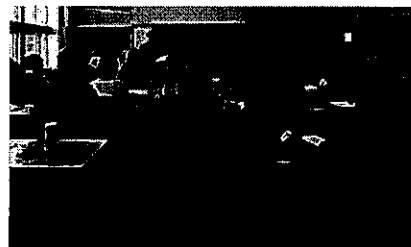
外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆外国人の日本語学習の支援

事例：東川町立東川日本語学校

◎概要：

- ・全国初の公立日本語学校
- ・在籍者数（H30年10月現在）：
1年コース 38名（定員40名）
（国籍：ベトナム9名、タイ11名、台湾12名等）
6か月コース 26名（定員40名）
（国籍：台湾8名、ベトナム7名、タイ5名等）
- ・教員：校長・副校長含め約25名
- ・奨学金：①授業料の50%（1年コースの場合、学費＝86万円／年・奨学金40万円）
②寮費（寮費＝約7万円／月 奨学金4万円程度）
※旭川福祉専門学校への留学生にも同様の奨学金支給
※8割は特別交付税措置
- ・1～3ヶ月の短期日本語研修も実施（H29年度477名が受講）
（H30.12月までの通算：台湾979名、中国584名、韓国486名、タイ410名等）



◎経緯

- ・町内の専門学校の学生数減少による学生寮の空室について対策を検討していたところ、町内で学んだ韓国人留学生から「町内滞在型の日本語学習で外国人を誘致してはどうか」との提案があり
→町の担当者が韓国に赴き、調査を行い実施に至る。
- ・H21年～ 短期日本語・日本文化研修スタート（H30年までに2,500名以上が受講）
- ・H27年～ 東川日本語学校開校（H30年までに150名以上が卒業）

事例：外国人留学生に対する新たな奨学金創設

◎概要

- ・実施主体：外国人介護福祉人材育成支援協議会
（設立：H30年12月）
（構成員：東川町、鷹栖町、幌加内町、
旭川福祉専門学校、3町内の8介護施設）
（賛助会員：11市町14施設）
- ・奨学金：留学生1人当たり年間約250万円。
（8割は、特別交付税措置）
- ・支給期間：2年間
- ・条件：卒業後3～5年間、協議会加盟施設で勤務すれば返済免除の方向で調整中



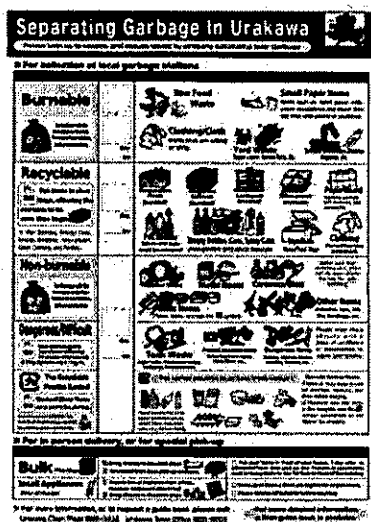
◎経緯

- ・同専門学校では、H29年度までに外国人介護福祉士14人が卒業。
- ・現在も10人の外国人留学生が在籍（介護福祉科の学生は64人）

外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆多言語化環境の推進

事例：ゴミの分別ルールが多言語化（実施主体：浦河町）



<活動の概要等>

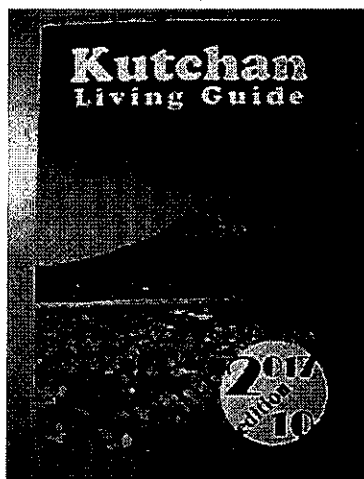
◎ゴミの分別ルールを記載した表を多言語化

- ・英語・中国語・韓国語
- ・住民登録の際に配布

外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆行政・生活情報の提供

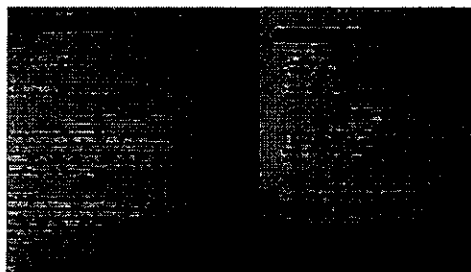
事例：Kutchan Living Guide（生活ガイドブック）の配付（実施主体：倶知安町）



<活動の概要等>

◎英語版「生活の手引き」作成と配布

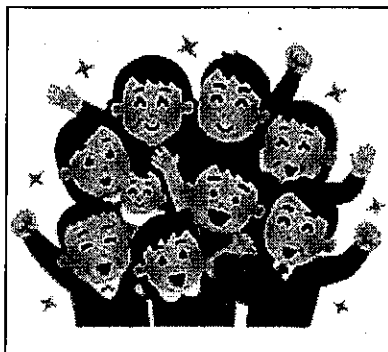
- ・日本人住民向けの生活の手引と同内容のものについて、英語版を作成
- ・平成19年から住民登録の際に配布
- ・年間発行部数：500部（平成30年）



外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆行政・生活情報の提供

事例：倶知安町町内会等への加入及び参加を促進する条例（実施主体：倶知安町）



<活動の概要等>

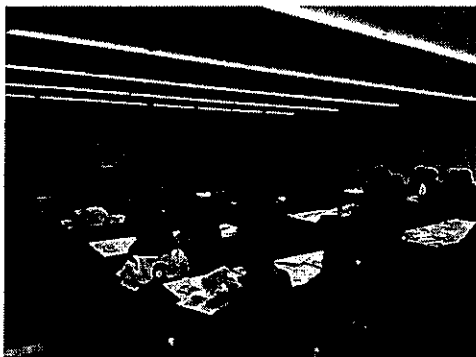
◎町内会等への地域住民の加入と参加を促進し、誰もが安心して快適に暮らすことができる地域コミュニティの実現を目指す条例を制定（平成30年12月）。

- ・スキーリゾート従業員等、外国人居住者にも町内会への加入を促進。

外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

◆行政・生活情報の提供

事例：外国人向け生活・観光情報ガイダンス会の開催（実施主体：ニセコ観光圏協議会※）



<活動の概要等>

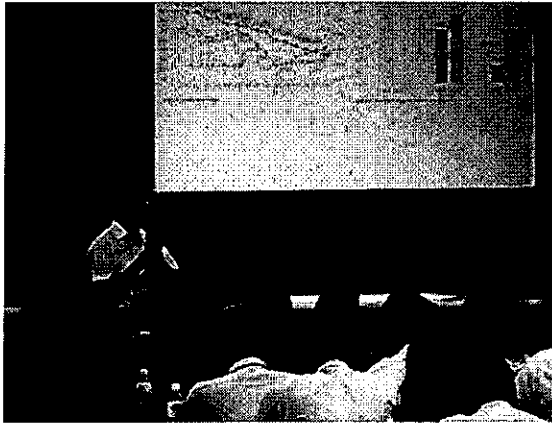
◎冬季スタッフへの生活・観光情報ガイダンス
・ウィンタースタッフが一齐に来る時期に、官民連携して実施。

（講師：リゾート関係企業の豪州人社長、在札幌豪州領事、町商工観光課長、警察（交通ルール等）

※ニセコ観光圏協議会：蘭越町・ニセコ町・倶知安の3町からなる広域観光政策を行い、ブランド観光圏を目指す協議会。

業界や企業等における受入環境づくりを支援する

◆適正な雇用管理・就業環境の周知・啓発 (実施主体：道経済部)



<活動の概要等>

◎労働関係法令等の周知・啓発

- ・中小企業向けの各種セミナー等を活用し、外国人労働者の適正な労働条件を確保するため事業主が守らなければいけない法令等の周知を引き続き実施。
- ・外国人労働者に関する職場環境の改善事例の収集・発信を新たに実施。

◎外国人労働者の相談体制の周知・啓発

- ・厚生労働省が設置している「外国人労働者相談コーナー」や「外国人労働者向け相談ダイヤル」について、周知等の協力を引き続き実施。

業界や企業等における受入環境づくりを支援する

◆外国人材の就業支援 (実施主体：道経済部)

(注) 北海道 ジョブカフェ主催

Networking event with international students and companies

外国人留学生と企業の交流会

～北海道経済部主催～

Feel free to ask me any question!
Change information and feel Japanese company culture!

2018
12月12日 (Wed)
15:00-17:00

Capacity
30 people
定員30名

Please sign up to the event
申し込み

Admission free
参加無料

「日本の企業文化?日本で働くには?仕事のやりがい?」
採用担当者、日本で活躍している外国人の方と
直接お話しができます

場所:札幌市中央区大通西9丁目3-12
学校法人北海道学院 新札幌キャンパス
札幌観光ビルディング 5階 517号室 (札幌C)

※当日会場にて申し込み受付となります
※定員に達した場合は先着順となります

ゲスト紹介 (Guest speakers)

- ◆Orange Birela
COO Alexander Katsuhiko
〒15000 東京都中央区銀座6-2-10 2F 201号室
- ◆D&M Co., Ltd.
北海道札幌市 藤本 次喜 様
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 1F
- ◆株式会社 SATO-GROUP
営業部長 藤本 和次 様
〒060-0808 北海道札幌市中央区南一条西5丁目1番1号
- ◆株式会社 七尾士
取締役・人事部長 石原 有貴 様
札幌 岡野 様
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 1F

お申し込み
お問い合わせ

ジョブカフェ北海道
TEL:011-209-4510

<活動の概要等>

◎外国人留学生と企業の交流会の開催

[平成 30 年 12 月 12 日 15:00-17:00

於：北海道安達学園 札幌観光ブライダ
ル・製菓専門学校 2階ロビー]

- ・外国人留学生の道内就職を促進するため、日本で働くことに対する疑問や不安を解消する場として、外国人留学生と外国人材の採用実績がある道内企業との交流会を開催。

業界や企業等における受入環境づくりを支援する

◆外国人材の就業支援（実施主体：道経済部）



<活動の概要等>

◎外国人留学生向け就活セミナーの開催

[平成 30 年 7 月 10 日 10:45-11:45

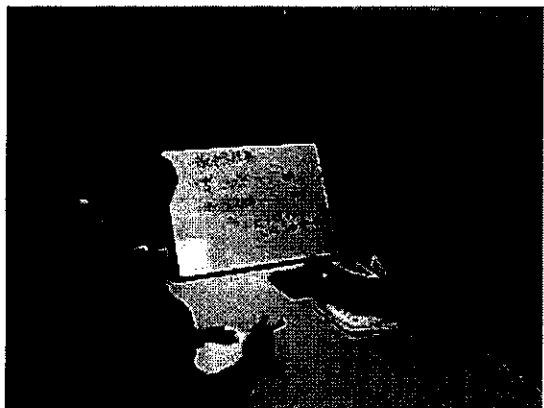
平成 30 年 7 月 13 日 15:00-16:00

於：ジョブカフェ北海道]

- ・北海道大学に在籍している外国人留学生を対象に、就活に関する日本・海外の違いや日本の就活スケジュール・最近の傾向などについて、セミナーを開催。

業界や企業等における受入環境づくりを支援する

◆関係団体や企業等の取組への支援（実施主体：道経済部）



<活動の概要等>

◎ハンズオン支援の実施

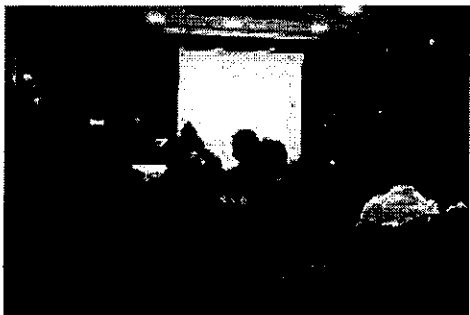
- ・外国人労働者の就業環境の改善に関する企業からの相談に対して、中小企業診断士や社会保険労務士等の専門家と総合振興局及び振興局職員による地域企業へのハンズオン支援を引き続き実施。

◎国の支援制度の紹介

- ・「外国語版モデル就業規則」等が掲載されている厚生労働省のホームページや、外国人労働者の雇用管理の改善や職業生活上の問題等について専門家によるアドバイスを受けることができる「外国人雇用管理アドバイザー制度」などの紹介を引き続き実施。

北海道で働き暮らす魅力を外国人材にPRし、呼び込む

◆道内の就業環境や生活環境の情報発信（実施主体：道経済部）



<活動の概要等>

◎経済人材セミナーの開催（ホーチミン市）

[平成 31 年 1 月 18 日 9:15-15:00

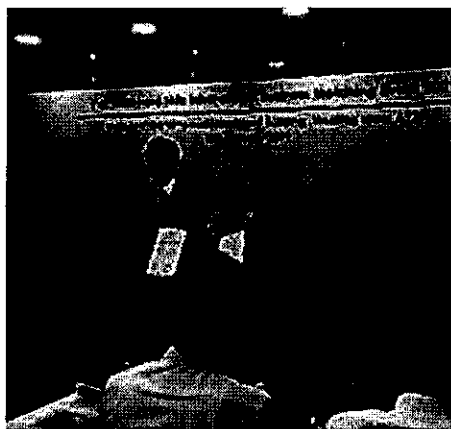
於：計画投資省ビル]

- ・ベトナムにおける人材育成の現状などについてベトナム教育訓練省など行政機関や大学4機関から聴取するとともに、北海道の学ぶ場・働く場としての魅力などについて地域・企業・関係機関からプレゼンテーションを実施。ベトナム側の人材育成機関等とのネットワークを構築し、今後の人材交流の促進に関する協力を要請。

[ベトナム企業等：19社・団体、道内企業等10社・団体]

北海道で働き暮らす魅力を外国人材にPRし、呼び込む

◆海外の関係機関等とのネットワーク構築（実施主体：道経済部）



<活動の概要等>

◎ベトナム南部投資促進センターとの覚書締結

[平成 31 年 1 月 18 日 9:30-9:50

於：計画投資省ビル]

- ・ベトナム南部との人材交流の促進に協力して取り組むため、辻副知事とジャン所長代理との間で覚書を締結。

- ・今後、情報共有や交流機会の創出、交流促進事業などに協力して取り組むこととなった。

クレア 多文化共生課 平成31年度 各種研修実施予定

2019.4.4現在

研修名称	開催時期	開催場所	テーマ・内容
ローカライズ研修①	5月29日	京都	「意識啓発・地域づくり」「災害」「日本語教育」に関する優良事例発表、およびそれを基にしたグループワーク
地域国際化協会連絡協議会国内研修 (担当者向け)	7月下旬	クレア本部	未定
地域国際化協会連絡協議会国内研修 (管理者向け)	8月下旬	クレア本部	未定
先進事例「体験塾」①	9月上旬	未定	未定
先進事例「体験塾」②	11月上旬	未定	※先進事例の現地視察およびワークショップ
ローカライズ研修②	12～1月	クレア本部	未定 ※優良事例の良いところを自らの地域に応用する能力を養成する研修
市民国際プラザ ステツプアップセミナー	1月中旬	中部地方	未定 ※自治体とNGO・NPOの連携推進を目的としたセミナー
多文化共生の担い手 スキルアップ研修(仮)	1月下旬	クレア本部	未定 ※下記「担い手連携促進事業」の一環で行う中央研修
多文化Opinion Exchange (旧外国人コミュニティ全国会議)	未定	未定	未定 ※外国人コミュニティとの意見交換

●各ブロックで行う研修

災害時に外国人支援に従事する関係者 向け研修訓練事業	6～12月	各ブロック	未定(災害対応訓練・研修等)
改正入管法の施行等を踏まえた多文化 共生の担い手の連携促進事業	11～12月	各ブロック	未定(研修会・意見交換会等)

●海外研修

豪州多文化主義政策交流プログラム	未定	豪州	今年度はメルボルンを予定
------------------	----	----	--------------

●JIAMと共催の専門研修については、クレアHPを御覧ください。 <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html>

※開催時期、テーマは変更になることもありますので、ご了承ください。